

第14回『銀座涼風計画(打ち水)』 渇水に配慮し すべて再生水で実施！

平成29年8月6日(日)第48回ホリデープロムナード「ゆかたで銀ぶら2017」(主催:全銀座会、銀座通連合会)の催し物で「銀座涼風計画(打ち水)」(東京国道事務所共催)が国道15号(銀座通り)の2つの会場で、渇水に配慮し、すべて下水処理水をさらにきれいにした再生水を使用し実施しました。

銀座涼風計画(打ち水)は、昔から「涼」を取るための有効手段として行われてきた『打ち水』を通じて、ヒートアイランド対策の取り組みとして環境意識の啓発や水の再利用の促進などを広く一般の方々に理解していただくため、平成16年度より銀座通りで実施し、今年で14回目となりました。

当日は、「ゆかたで銀ぶら2017」の開催に合わせるように天候が良くなり、午後には気温が33℃を超えました。ゆかたを着て銀座にいらした方やショッピングを楽しんでいた方など約800名の方が14時30分と14時50分の2回の銀座涼風計画(打ち水)に参加し、昔ながらの「涼」の取り方を楽しんでいました。



今年もゆかたを着た方が多く参加しました。暑い中、打ち水が始まるのを待っています。



打ち水用の水には、今年も、すべて下水処理水をさらにきれいにした再生水を使用しました。



合図に合わせて、一斉に打ち水です！！